

週刊

愛知民報

2022年
3月27日
第2579号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

聴衆の声援に応える、(左から2人目) たけだ、市田、すやまの各氏119日、名古屋市中区



参院選勝利へ熱気あふれる

ロシアのウクライナ 侵略を糾弾

夏の参議院選挙まで3カ月。日本共産党愛知県委員会は19日、比例代表で「650万票、10%以上、5議席」を獲得し、愛知選挙区(改選数4)での勝利を実現しようとして、市田忠義副委員長を迎えた街頭演説会をおこない、会場1000人、オンライン2000人を超える人が参加しました。

たけだ良介参院議員・比例予定候補(活動地域：東海・北陸信越)と、すやま初美党県副委員長(愛知選挙区予定候補)は、市田副委員長と共に、ロシアのウクライナ侵略を糾弾し、「侵略をやめよ」と力を込めました。また同氏は、参院選で共産党が躍進する3つの意義について①岸田自公政権に真正面から立ち向かって内政でも外交でも国民の利益にかなった抜本的対策を示している②自民党、公明党と補完勢力による改憲と暮らし破壊の翼賛体制づくりを許さない③野党共闘の大局的発展の推進力になる」と詳しく解説しました。

同氏はさらに、日米安保条約や自衛隊、天皇の制度などについて共産党綱領の内容を解説している「はてなリーフ」を広げながらその中身を説明。「100年間ぶれない日本共産党の支持を広げてほしい」と訴えました。

ウクライナ人道支援募金が9万7149円寄せられました。

日本共産党 市田副委員長が名古屋で街頭演説

「はてなリーフ」で支持広げよう



参院議員(比例予定候補) たけだ良介



党県副委員長(愛知選挙区予定候補) すやま初美



かとう典子候補



坂 ゆかり候補

大激戦 東海市議選 27日投開票

東海市議選は27日に投票日を迎えます。定数22に28人が立候補する多数乱戦です。保守系、企業系、公明党に加え維新の会も名乗りを上げ、選挙戦は1票を争う大激戦です。

日本共産党から坂ゆかり(現)、かとう典子(新)両氏が立候補し、現有2議席の絶対確保をめざし宣伝・支持拡大に懸命です。

両候補は、迅速安全なワクチン接種やPCR検査充実などのコロナ対策、国民健康保険税の引き下げ、学校給食費の無償化、らんらんバスの増車・増便、降下ばいじん対策など、潤沢な財政力をいかしたくらし応援の公約を掲げています。

もとむら伸子参院議員、すやま初美参院愛知選挙区予定候補が応援に駆けつけました。